

# 古戦場公園再整備事業について

# 造園のイメージ

## 430年前の情景を現代に再現する公園



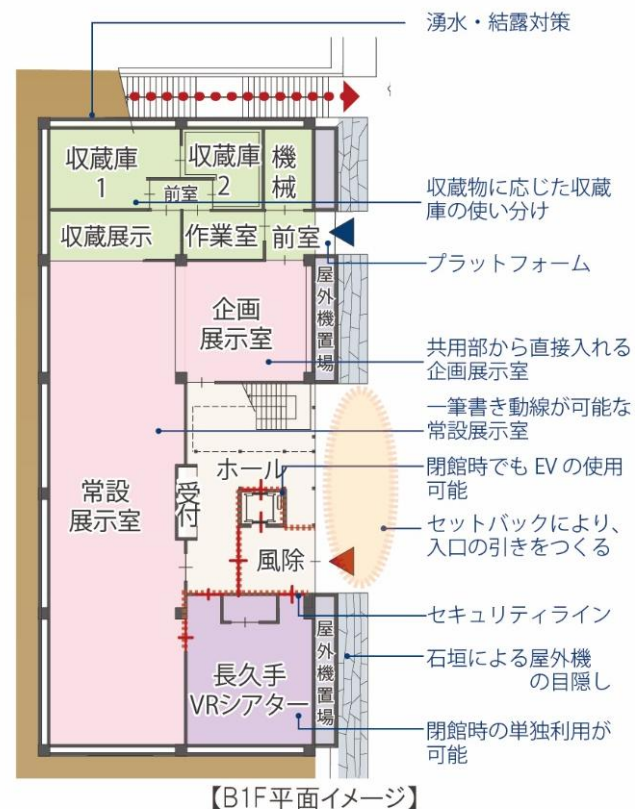
展示と連携して合戦の様子を体験できる古戦場ARビューワー  
(タブレットやスマートフォンの活用検討)

- 間伐による勝入塚・庄九郎塚間の通景の確保
- 合戦当時の景観を再現
- 国指定史跡の保全継承と勝入塚・庄九郎塚の修復
- エバーサルデザインを念頭にした園路整備
- 多様なイベントに対応できる広場を整備
- 古戦場解説の充実とタブレット等を活用したAR

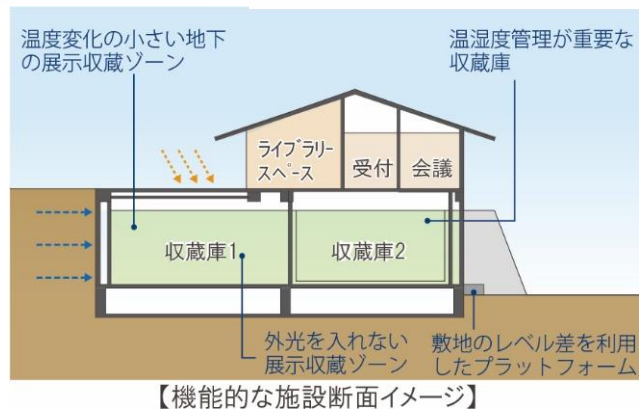


古民家移築を視野に今後検討される西側ゾーンのイメージ





- 多様な企画に対応できる企画展示室の配置
- 少ないスタッフで対応できる平面計画
- 休館時も利用できる貫通型EVの採用
- 休館時に単独利用可能なVRシアター
- 誰もが使いやすいユニバーサルデザイン施設づくり



木材を利用した場合の事例

# 3 展示のイメージ

## 合戦図屏風等を活用した「小牧・長久手の戦い」を展示解説



歴史の舞台となった長久手の  
歴史的価値の普及と情報発信

国指定史跡「長久手古戦場」  
での歴史の一幕を伝え、その  
価値を未来へと継承します。

ガイダンス  
施設の効果

市民によるガイド活動

市民同士のつながりを生み出し、  
施設の担い手の育成を目指します。

市内フィールド  
ミュージアムの拠点として

観光周遊の促進

長久手古戦場でのガイダンス  
をきっかけに、長久手全域へ  
の興味関心を湧き立てます。

5 地上



フィールドミュージアムへ

もっといろいろな  
ところに行ってみよう!

